

次期「人口ビジョン・まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定等について

1. 現行の人口ビジョン及びまち・ひと・しごと創生総合戦略について

- 2015 年 10 月に、2060 年に 700 万人程度の人口を確保するとして「人口ビジョン」と、その実現に向けた 5 か年 (2015～2019 年度) の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定。
- 総合戦略の的確な推進を図るため、**毎年度、外部有識者、関係機関等からなる検証会議を開催し、施策・事業の進捗状況や数値目標、重要業績評価指標 (KPI) の達成状況について検証**を行い、必要に応じて施策・事業の見直しなどを行っている。
⇒別添 1 : 数値目標と重要業績評価指標 (KPI) の達成状況
⇒別添 2 : 基本目標を実現していくための具体的な施策・事業
(「愛知県まち・ひと・しごと創生総合戦略」 付属資料)
※総合戦略に記載した「具体的事業」について、平成 31 年度予算事業に合わせて再整理したもの。

2. 次期人口ビジョン及びまち・ひと・しごと創生総合戦略の策定について

- 現行の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の計画期間が 2019 年度に終了することから、**次期「人口ビジョン・まち・ひと・しごと創生総合戦略」を 2019 年度末を目途に策定**する。

<検討体制>

- **節目ごとに、「愛知県まち・ひと・しごと創生総合戦略推進本部」を開催**し、県庁全体で情報共有を図りながら、次期人口ビジョン及び総合戦略を策定する。
- 学識者、産業界、労働団体、金融機関等からなる**有識者会議を開催**し、専門的見地から助言を得るとともに、幅広い意見を反映させていく。
- 県内を 6 地区に分け、**市町村との意見交換会を開催**し、地域の課題や取組の状況を把握するとともに、市町村が策定する総合戦略への助言等を行う。

<基礎調査の実施>

- 基礎調査として、県外居住者を対象とした**愛知県内への移住希望等のアンケート調査**や、人口のメッシュデータにより**人口の動向が地域社会・経済に与える影響を分析する調査**を実施し、総合戦略の検討に反映させていく。

<策定に当たっての視点>

- **現行の総合戦略の成果と課題を検証**した上で、人口の動向や社会経済情勢の変化を踏まえつつ、**新たな基本目標、戦略に位置付ける施策、KPI などを検討**していく。
- 2019 年 6 月に公表予定の国のまち・ひと・しごと創生に関する基本方針や 12 月に公表予定の国の総合戦略を勘案して検討していく。
- 国連が掲げた **SDGs (持続可能な開発目標) の理念や SDGs 達成に向けた取組の視点などを盛り込んでいく**。

<策定スケジュール>

